

物語文を読み、自分の感想をもつことができる第1学年国語科学習

～教材と自分との関わりを大切にしたい、知識構成型ジグソー法を用いた学習活動を通して～
飯塚市立 立岩小学校 教諭 服部 心子

主題・副主題の意味

物語文を読み、自分の感想をもつ国語科学習とは

↓
文章の内容に対して、一人一人が思いをもつということである。

教示と自分との関わりを大切にしたい学習活動とは…

↓
文章の内容と自分の体験とを結び付けて読み、文章の内容を自分が既に持っている知識や実際の体験と結び付けて解釈し、教材への思いを膨らませたり、読みの理解を深めたりする学習活動である。

研究の目標

第1学年国語科学習において、物語文を読み、文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもつために、知識構成型ジグソー法の手法を用いた学習の有効性を明らかにする

研究の仮説

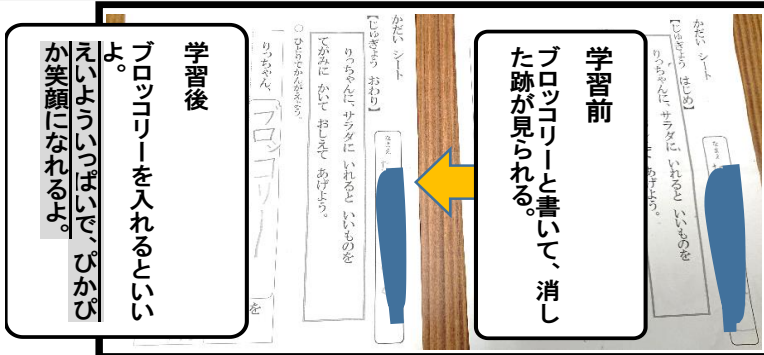
第一学年国語科学習において、知識構成型ジグソー法の授業を設定し、次のような手立てを工夫すれば、文章の内容と自分の体験を結び付けて感想をもつ子供を育てることができると考えられる。

- ① 子どもが意欲的に、友達と解決したくなる課題(問い)の工夫
- ② 友達に伝えたいくなるエキスパート活動や資料の工夫
- ③ 子どもの意識が継続する振り返りの場の工夫

【着眼1】 友達と意欲的に解決したくなる課題(問い)の工夫についての考察

課題

りっちゃんに、さらだにいれるといいものをてがみにかいておしえてあげよう



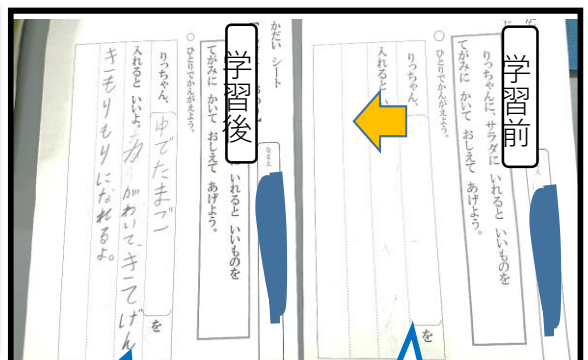
↑ I児 課題シート

[資料4] 検証児の課題シート

↑ H児 課題シート

【着眼2】 友達に伝えたいくなるエキスパート資料や活動の工夫

エキスパート資料



エキスパートA

自分自身の体験と繋げて考えることができるような資料や活動

エキスパートB

比較しながら考えることができる資料や活動

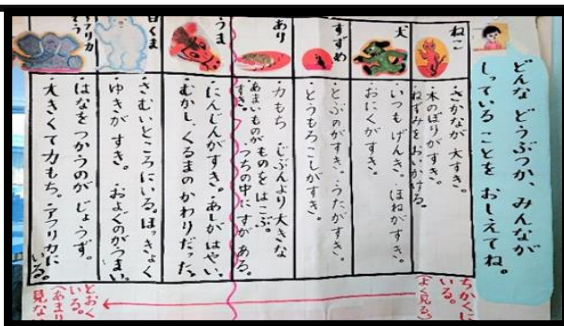
エキスパートC

身近な人の考えを知ることができる資料や活動

りっちゃんへゆでたまごをいれるといいよ。力がわいてきて、げんきもりもりになれるよ。

(何かを書いて消した跡が見られる。)

【着眼3】 子どもの意識が継続する振り返りの場の工夫



動物たちがどんな順番で、何を教えてくれたかを場面ごとの学習後にまとめた。



子どもたちの知っている動物たちの特性をまとめ、掲示した。

成果と課題

成果

- ジグソー法を取り入れた学習活動により、子どもたちは、友達のことを取り入れたり、自分の感想をもったりすることができたと考えられる。
- 対話活動において、タブレット端末のボイスレコーダー機能を活用することで、主体的に課題に対する答えを導こうとしていた。

課題

- エキスパートC資料に、子どもたちの関心が向いてしまった。提示の仕方を工夫する。
- クロストーク時に子ども同士の意見が活発に交流されるような意見の取り上げ方を工夫する。